

多賀工業会千葉県支部会報

(茨城大学工学部)

第17号

多賀工業会千葉県支部 第24回総会開催の御案内

総会日時 平成9年7月13日(日曜日) 11:00 - 15:00

総会会場 フローラ西船 [JR西船下車3分 ☎0474-35-2211]

会費 8,000円 [平成5年以降の卒業者は5,000円]

総会次第

- | | | |
|--------|--|---------|
| ① 受付 | 10:20 | より |
| ② 総会 | 11:00 | - 11:30 |
| 総会議案 | (総会資料 P2-P5)に記載。 | |
| ③ 記念講演 | 11:40 | - 12:40 |
| 講演者 | 岡部萌生 日立粉末冶金株式会社
19精密卒 社長として活躍・現在相談役 | |
| 演題 | 粉末冶金製品の紹介・こぼれ話 | |
| ④ 記念撮影 | | |
| ⑤ 懇親会 | 13:00 | - 15:00 |

備考 フローラ西船はJR総武線・武蔵野線・京葉線西船橋下車・南口3分。
出欠は同封の業書で6月末日迄にお願いします。緊急連絡は下記に。

☎ 佃 0474-85-0078 藤 0474-83-0605 三 047-324-1067

平成8年度・事業報告および決算書（H8・3・1－H9・2・28）

- 1号議案 平成8年度・事業報告
- ⑥ 5月25日 本部支部長会議
 - ⑦ 5月29日 多賀工業会総会(燐)
 - ⑧ 3月10日 埼玉支部総会
 - ⑨ 5月26日 静岡支部総会
 - ⑩ 9月8日 水戸勝田支部総会
 - ⑪ 9月28日 東京支部総会
 - ⑫ 会報 15号・16号 発行
- ① 4月5日 執行部会議
- ② 5月24日 幹事会
- ③ 7月21日 支部総会：船橋ゴルフ倶楽部
〔現代産業科学館見学〕
- ④ 10月25日 支部ゴルフ・コンペ
- ⑤ 12月15日 忘年会

2号議案 平成8年度・決算および会計監査

収入の部			支出の部		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前年度繰越金	60,077		総会費	281,107	
本部助成金	150,000		交際費	62,000	
総会費	144,000	8,000×18	通信運送費	239,070	
年会費	446,000	2,000×218※	会議費	73,560	
広告費	45,000	5,000×9	会報制作費	189,610	
雑収入	55,200	本部助成金10,000 他支部8,000×4 利子 13,200	事務・雑費	31,871	
			繰越金	23,059	
計	900,277		計	900,277	

別途積立金 400,000（郵便局定期預金）

平成9年2月28日 監査の結果誤りないと認めます。

監事 森 勇一印 監事 富田 宣吉印

3号議案 平成9年度・事業計画 (案)

- ① 幹事会 (最低・年度間5回)
- ② 24回総会
- ③ 工場見学または体験学習・忘年会 [平成9年11月予定]
- ④ 第7回 親睦ゴルフ会(同好会組織として発足予定)
- ⑤ 新規事業 俳句同好会(被稿・吟行)設立予定[主宰 塚越要夫氏]
囲碁・将棋同好会 千葉を歩こう会 外 [企画中]
- ⑥ 他支部総会出席ならびに本部理事会出席

4号議案 平成9年度・予算(案)

収入の部			支出の部		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前年度 繰越金	423,059	経費積立金 繰入	総会費	300,000	
本部 助成金	150,000	減額の家業・本部	支店費	60,000	
総会費	200,000	8,000×25	通信連絡費	250,000	
年会費	440,000	2,000×220	会議費	60,000	
広告費	40,000	5,000×8	会報制作費	250,000	
雑収入	42,000		新年度費	100,000	会場・連絡・印刷費他
			事務・雑費	50,000	
			予備費	225,059	
計	1,295,059		計	1,295,059	

5号議案 役員改選(新幹事候補)

平成8年度年会費納入者（敬称省略）

〔後期 63名 累計218名〕

- 16 吉田 俊
17 市東志郎 今村 勝
20 斎藤勝夫 鈴木友生 中村四郎
22 関 誠治 新井義男 田口哲也 田村耕治
23 平野雄一 岩下 晃 大川栄一
25 山田秀男 平栗泰次郎
28 池沢豊治 31 新田和夫 中川 洋 32 檜山直孝 高橋利尚
34 鈴木 徹 阿久津嗣夫
35 渡部林二 土屋孝右 草刈謙次 高橋 清
36 久野 清 関谷 廣 38 市村敬司
39 市瀬忠彦 40 鈴木 絃 佐藤道夫 小林幸澄
41 渡辺 穰 42 小園井健 服部研治 43 橋本弘道
44 梅田弘明 日置和夫 46 笹倉隆親 深山泰一 兼卷良勝 松本 茂
50 高久 隆 岩瀬幸男 58 深井千秋 60 神田 建
61 小堀繁治 62 野田季彦 秋葉健司 63 丸山尚正
H1 原 啓介 桑原弘明 前田憲男 H4 藤浪智義 原 伸郎
H2 石井伸彦 H5 鈴木正和 H6 飯田直之 小山真二郎
H7 羽鳥弘和 村松 渉 H8 藤原 昭

ご協力感謝いたしております。幹事一同

平成9年度新入会員氏名（敬称省略）

機械工学科	都築真治	廣松義範	山口敏明	吉武嘉裕	延廣堅太郎
	岩井雅幸				
情報工学科	近藤知和	錦 信治	宮原和久	山口敏宏	野村伊知郎
	吉岡三善	吉田貴幸	渡邊政明		
電子工学科	平野 拓	小林正則	瀧澤 徹	鈴木正人	大堅信一郎
物質工学科	和久井淳				
都市計画工学科		室山拓生	鈴木雅晴		
システム工学科（Aコース）	岩瀬俊幸	菊池和美	吉田成志		
システム工学科（Bコース）	佐藤秀之				[26名]

御 逝 去

17原動 羽鳥 忠雄氏

謹んで御冥福をお祈り申し上げます

日本経済が再興か衰退かの正念場を迎えている。

以前、会報第5号（平成2年）に森勇一氏（25電）が、少子化について投稿されたが、我が国の合計特殊出生率（女性が一生の間に産む子供の数）は戦前及び戦後直後は4乃至5だったがその後一貫して低下、95年では1.42になっている。日本の場合この出生率は2.08ないと人口は維持できない。95年の1.42が続くと、日本の総人口は2006年の1億2千7百万人が、ピークでその後減少2090年には5千5百万人と現在の半分以下になる計算だ。

14歳以下の年少人口は1982年から減少。15-64才の生産年齢人口も96年から減少。2050年には5千4百万人と今の人口の6割程度になってしまう。一方65才以上の高齢人口は、1947年から一貫して増え続けて21世紀に入ると嫌でも世界一の「老人大国」になる。

経済成長の3大要因は「労力と資本と技術進歩」だが人口の減少・とりわけ生産年齢人口の減少・と人口構成生の高齢化は労働供給量の減少、資本の源泉である貯蓄量の低下などを通じ、これからの経済成長にとって最大の制約要因となる。と、すると残るのは技術開発だけである。

しかも経済のグローバル化で世界は大競争時代に突入・其の中で生き残り、優位性を確保していくのは容易なことではない。その「カギ」は、技術で、これからは技術の優劣が一切を決定する。

ところで、日本の研究開発費はGDP（国内総生産）比率は95年度2.95%で世界最高水準にある。（科学技術庁の調べ）

しかし研究費の政府負担割合は、フランス44.3%・ドイツ37.1%・米国35.0%英国32.3%に対し日本は22.9%で研究費の多くを民間が負担している。

つまり企業の収益に関係してくる。政府の大規模かつ積極的支援策が望まれる所以である。

「出生率の低下が確実に民族ないし国家の衰退を示す赤信号である」とは、古代ローマ帝国以来歴史の教えるところである。
これだけはなんとか避けなければならない。

高山 和夫 二十二機械

大漁旗舞ふ 船のうえの空青し

奏でるマーチは錨をあげて

胸が岳 車窓を離れず見えつつく

大沼の水に 鹿部の湯にも

美濃多治見 虎溪の窟を訪れし

絵付けし湯呑みの届く日待てり

国室の幸兵衛窯に生まれし器

手にとらずして重みをはかる

たまさかに救命衣つけざりし海難に

五代統ける漁家閉ぢむとす

次々と花々が咲き蒔い新緑の美しいこの頃改めて考えさせられる事がある。四月に新人を迎えて一ヶ月が過ぎ新年度の事業も本格的に動き始めた。新人は期待どおりに成長してくれそうか、また予算や見通しに添っているかななどが気にかかる頃である。しかし、社会の動きは、種々変化が激しいので、それらにも対応出来るようコンテンツシープランもそれなりに建てておかなければならないと感じている。自分の生活計画が比較的自由に造れるようになってみるとルーズになっていないだろうかと反省させられる。

不思議なもので忙しくなるほど時間の使い方は、上手くなるようで新人には新しい芽がすくすくと育つように、それなりの手を差し伸べてゆきたい。

日々の個人生活においても、人・物・金・情報は何時の年代年齢においても非常に重要な資産であり、更に自分自身で積極的に増やしてゆくように活動してゆかなければならないものであろう。

現役時代はT型・最近は十字型人間になろうと無我夢中で頑張ってきたが社会の広さから見た場合非常に狭い分野であろうと感じられる。よって第二第三の人生になった今、少しでも広い分野を正しく理解出来るようにと、出来るだけ多くの人と会うため、各種の講演会・イベント・コンファレンス等に出席して自分の不足している分野を出来るだけ早い間に補完しようと努めている。

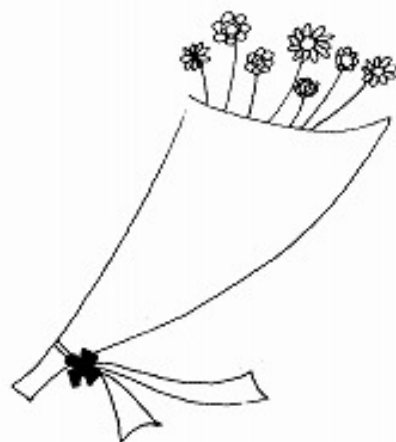
同窓会活動に参加するなど、効率のよい手段だと思っている。またこれらが出来するには心身共に健康であるので日頃の健康保持にも一層努力しよう。

現在の日本は物質的には非常に豊かになり大変平和な状態になっているように見えるが本当なのか、今後も保たれるのか改めて問われている。

良い生活環境を保つまた改善してゆくためには省資源・省エネ・自然環境保全等に心がけて生活すると共に精神的豊かさとはなにか再考する時期である。

厳しい生活条件の下自己中心的考えかたになりがちであるが相
ながら自分を振り返るように心がけて生きたいものである。 手のことを考え

自分自身の哲学的な方針をしっかり持つとともに後世にも精神的豊かさの大切さを伝え育てることが熟年者の責任であろうと思っている。兎に角、何時でも自分自身から積極的に社会に出てゆき、更に広い見識を持つように物心両面で豊かな生活が後世までも引き継がれるように、興味と注目を高め日々の生活を活気あるように努めてゆきたいと感じている今日この頃である。



敗戦直後、雨露を艦砲射撃をうけた寮で凌ぎ、寒さはわ和・物和乞食の重ね着で防ぎ、飢えは口に入るもの、按摩の笛以外は何でも食べて粉らした。そんな生活でも「命」永らえたのは「若さと運」のお陰げだと感謝している。鯨油の「臭い灯り」・一本の「計算尺」・時代の「お情け」で何とか卒業できたが、卒業近く「就職か？・進学か？」で本気に悩んだ。

開戦直後、太平洋の各地の戦場で親しい従兄弟4人が名誉の戦死した。訃報を知らされて、もう戦争犠牲者になるまいと決意した。戦争を回避するために機械科を選択した。医者・農業と機械は「徴兵延期」だったからだ。敗戦でドンパチがなくなったんだから、本当にやりたかったことをやろう！だが、浪人と落第・回り道が負い目だった。迷った挙げ句、進学は諦めた。

花形は傾斜生産政策で国の融資を受けおッて・おッて・おマッ『一次産業』だった。近将来『二次産業』つなぎで「輸送製造業」が隆盛するだろう。だが戦敗日本は航空機は製造禁止・船舶は一万噸以上はダ・メ。石川島が貨物船「鳳来丸」を建造したが確か「九千九百九十九噸」だった。自動車は物資輸送が優先・軽三輪車（くろね）人間はスクターで街なかをア・アッ 動きはじめた頃だった。

じゃーナンダ？ 結局「鉄道車両」を就職先の目標に絞りこんだ。今なら「インターネット」で就職情報を得られるが、当時は「足」で探しまくった。幸い、新規に車両製造に進出する企業があった。受験したら運良く合格した。

1949年（昭和24年4月1日）人生の門出だ。意気込んで入社した。昨夜親は赤飯を炊き尾頭付きで祝ってくれた。その上スーツまで新調してくれた。アァーそれなのに！その日・衝撃的な出来事のでっくわし波乱万丈の船出の日になってしまった。

新入社員は私以外見当たらない。変だなあと思いつつ人気の無い暗い総務室でボンッ待った。肌寒かった。かなりたって総務課長が入ってきて、開口一番・「君・採用延期通知が届いてない？」「入社は無期延期なんだ！」と告げた。

「貰ってませんよ！ソナナもの」・「何時通知したんですか」・（沈黙）・「回答無用で門前払い！・無礼じゃない」一介の新入社員だが後先の見境なく精一杯の抵抗をした。語気が気迫か総務課長は、驚いて席を立てて消えた。当時の労働事情は、極端な就職難（買手市場）だった。今、放り出されたら・もう、今年の入社試験は全部終わった。万事窮す。また浪人・ああ無情！だ。

『君はいいんだ！入社だよ』・手柄顔の口調で総務課長が戻り報告した。「エッ、ウ・ソ！」・冗談ジャナイヨー・エイブリーフール。情けない課長。タッタ30分位の出来事だった。だが、ショックは激しく内心は荒れ狂っていた。こんな会社を選んだ不明を恥じ、誰にも言わず半世紀も経ってしまった。

『五等技手に叙す・本社技術部第二設計課勤務を命じる』悔しいが辞令だ。機会をみて何時か辞めよう、未練はない。会社人間には絶対ならぬ。鼻はしが強くて義理人情に弱い下町気質。こんな男に誰がしたんだ。だから酒酔えば唄った。[コイトいわれて騙されて・・トンコトンコ・]と。

占領下の日本に1948年（昭和23年）12月G・H・Qは均衡予算・徴税強化の経済安定九原則を指令した。徴税は「シャープ勧告」で具体化・強化された。経済は「ドッジ公使」が竹馬経済（救済資金援助・補給金）状態を危険とし、1949年度の子算案は超均衡予算で財政の健全化・インフレ経済からデフレ経済へ移行させるため、政府補給金を撤廃した。

また、行政機関職員定員法（28削減目標）を発動。国鉄を直撃した。6月・日本国有鉄道公社が発足。7月から1次-2次の人員整理発表、直後・下山総裁が綾瀬で轢死する事件・三鷹駅構内の無人電車が暴走する事件・東北本線金谷-松川間で列車が転覆する物騒な謎の事件が続発した。

私が選んだ会社は「車両の照明・投光器・スイッチ等」を制作していたが、新入りを切り口に車両本体に進出して業容拡大を目論だがドッジ予算でパー。国鉄から問題車「E63型車両」を払いうけ日本で一番短い鉄道馬橋-流山間の修理改善車両をつくるのが会社の初仕事で、それが最後の仕事だった。そんな時「神岡鉱山」の「鉱石車」の実態を見てこいと出張を命じられた。

早朝・東京を発った。名古屋で飛騨高山線に乗り換え高山で下車・最終バスに乗り継いだ。バスといってもマイカーそれでも家並みの軒にぶつかりそうに高山市街を抜けて、けもの道のような狭い山道を揺られ、タツリ3時間弱。峠を越えてびっくりした。煌々と灯りが点っていた。東京は照明などないのにこんな辺鄙な山間に不夜城と紛うばかりの光景が広がってとても意外だった。おもわず“あれが神岡の灯だ”と、叫ぶところだった。

四つのプレートが、ぶつかり海溝に沈み内陸は隆起を繰り返している日本列島は火山活動が盛んだ。なかでも「飛騨高山地帯」は興味深々注目の地帯だ。最近、飛騨川の断層から20億年前の化石が発見された。「飛騨変成帯」は、片麻岩の上をジュラ-白亜系の「手取層群」が覆っている。福井県、勝山市の手取層群から恐竜の化石を発掘・日本にも恐竜がいたんだと話題沸騰中だ。また「接触交代鉱床」をつくり「鉛・亜鉛・銀」が産出する事例の代表的存在として「神岡鉱山」があった。

金山・幅広い坑道が整然と縦横無尽に張り巡らされていた。その神岡鉱山も他の鉱山と同じように既に鉱石を掘尽くしたのか？使用済みのバッテリーを回収・分解・精製して「資源再活用」に役立っているとか。また「宇宙素粒子観測装置」・東京大学宇宙線研究所・スーパー神岡観測所は「陽子崩壊を観測する実験」-陽子の中の「クォーク」を「レプトン」に変える「力」を探し求めている。「力」は限りなく0に近い確率でおこるのか。それとも「大統一理論」は誤りなのか。200mの水槽をつくって観測している。坑道を最高に利用した施設かなと推察しているが、確かなことはわからない。

「発破」の響きを聞きながら、最上層の坑道から「ケージ」にのった。ケージとは、最上段の坑道から垂直に設けられた簡易エレベーターだと思えばよい。言いそびれたが、神岡滞在中・私に付き添って指導して呉れた技術者がいた。二人が乗るとグラット揺れた。揺れに驚く私に噛み煙草いかが？ 珍しので咬んだが余り美味しくなかった。噛み煙草をダシに揺れに神経を行かせまいとする優しい心配りだった。

ケージが下降すると隙間から遂道の備燈の灯りが近ずいたり遠のいたりして地獄に誘う「送り火・迎え火」のような気がした。

藤丸籠で奈落の底に落とされていく。薄暗い「籠」なかで震え声で呟いた。

「熱海」は東京の奥座敷、仕事に疲れた東京の人の静養地であり歓楽地でもあった。「中京の熱海」と言われたのが「下呂（ゲロ）温泉」だった。

伝統ある静かな旅館の大広間で二人の男が向かい合い喜々と話が弾んでいた。

色気は全くない。仕事の話も無い。学生時代の思い出ばかりだった。

「何で、わかった？」

「尻上りと方言です・・・ケージを降りるとき・・・オッコチル・・・」

海外だったらハワイに行ける以上の時間がかかる、東京から遠く離れた暗く狭い「藤丸籠の中」で顔をマジマジ見合わせた二人だった。

それが同窓生で先輩・後輩だとわかったのは「言葉の訛り」だった。

（ナイ・ナエ）苗が無いという意味だが、今だって駅弁を売ってない駅を降りて寮に行く途中、この看板を見たときカカカカだったので印象が深い。

「訛り」は「国の手形」とは良くいったもんだ。

ややもすると、ものを斜めにみる荒んだ心が和んでいく思い出の一夜だった。

だが、半世紀前の事だから曖昧なケ所がある。

最も肝心の「先輩の名」が、どうしても思い出せない。

「記憶」は薄れる「記録」は残るとは、これマタ良く言ったもんだ。

白鳥 塚越 としを

初空や 高速道の真下より

三四郎池 常の昏みや 松の内

甲斐駒に雲走りけり 鳥糞松

恵方道 肩をすぼめて戻りけり

ビル風をつむじを巻きぬ わずな粥

白鳥に生まれし水輪のわれに寄る

白鳥の飛沫の白さ 鏡いけり

白鳥の羽博ちの裾を風くぐる

白鳥の舞ひ 澎湃と目を醸す

雪くるか白鳥白さ濁しけり

沖鷗や 荒縄の跡 目を弾き

水魚裂く やん衆の恋 育てつつ

回想の日に群舞せる都鳥

白銀の堅琴 満ちよ 霜柱

バントマイム 雪降ることく降ることく

春月や 邪気踏えぬる 仏たち

仏頭の貫禄転ぶ 朧月

五路杖で指す明眸の讃岐富士

声明や 波打ってゐる 春の闇

震度六 比岸彼岸を揺らしけり

花ひとひら 大河優遊 自適かな

花ひとひら 相会ふ水の遊びかな

花筏 五重の塔を讀えけり

花衣 弁天池に写りけり

舍利塔の火焰を揺らし花の雲

会社紹介

インテリア・イチキ 一木 忠 23金属

☎・047-343-0827 〒270 松戸市幸田32-1

全国仲人連合会 船橋センター 支部長 原田 正夫 16精密

幸をつかもう! ☎・FAX 0474-32-1615 船橋海神5-21-12

地曳税務会計事務所 税理士 地曳 一夫 17金属

☎・047-361-3310 〒271 松戸市二十世紀が丘萩町50

大久保税務会計事務所 税理士 大久保勝躬 23機械

☎・047-336-1662 〒272 市川市北方2-8-21

岡安産業株式会社 岡安 孝捷 26金属

☎047-373-5894 〒272 市川市宮久保2-17-6

祈りによる世界平和を 嶋田製作所 嶋田 清 20金属

☎047-325-2535 〒272 市川市平田1-17-8

世界に耀ぐプレス(株)仙電工業 技術顧問 山田 泰雄 19機械

☎0474-85-0078 〒276 八千代市八千代台西3-2-23

編集後記 1: P1-5は24回総会に関する資料です。

2: この会報は9年目に入りました。編集方針も見直します。